

東京言語研究所

2013年度第2回公開講座

東京言語研究所では、広い視野からことばを考えることを目的として、年3回公開講座を開催しています。毎回、ことばとかかわりを持つさまざまな分野の第一線で活躍する方々を講師としてお迎えします。

今回は、下記の要領で2013年度第2回公開講座を開催いたします。奮ってご参加ください。

〈演題〉『アフリカ諸語のフィールドワーク』

〈講師〉米田 信子 氏(大阪大学大学院言語文化研究科教授)

〈日時〉2013年10月19日(土) 14:00~17:00

〈会場〉東京言語研究所 (新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル13階)

〈参加費〉一般 1,500 円 学生 1,000 円(当日学生証提示)

(*2013年度理論言語学講座受講生は500円)

※ 参加費は当日現金でお支払いください。

〈申込み〉ホームページ申込みフォームもしくはFAXで下記をご連絡下さい。定数:60名

- ① 公開講座受講希望
- ② 氏名
- ③ フリガナ
- ④ 性別
- ⑤ 住所
- ⑥ 電話番号
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 区分 (2013年度理論言語学講座受講生・一般・学生)
- ⑨ 所属 (大学生・大学院生・教員・会社員・その他)

(上記情報は東京言語研究所事業以外には一切使用いたしません。)

〈講師紹介〉

東京外国語大学大学院地域文化研究科博士後期課程修了。大阪女学院大学・短期大学の准教授・教授を経て、現在は大阪大学大学院言語文化研究科教授。博士(学術)。専門は記述言語学と社会言語学。主な研究対象は「バントゥ諸語」と呼ばれるグループのアフリカの言語で、毎年アフリカで調査を行っている。最近の主な論文: Word order in Matengo (N13): Topicality and informational roles. (Lingua 121, 2011)、「スワヒリ語における2種類の関係節」(CLAVEL2, 2012)、「アフリカにおける識字を考える」(『ことばと社会』14,2012)、「ヨーロッパ発『多言語主義』とアフリカの多言語状況」(砂野幸稔編『多言語主義再考』三元社, 2012)など。

問合せ先 公益財団法人 ラボ国際交流センター 東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420

FAX:03-5324-3427 ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

【講義要旨】

アフリカ大陸には言語が 2000 近くあると言われていています。その多くが、調査や研究が行われたことのない(したがって辞書も文法書もない)いわゆる「未知の言語」と呼ばれる言語です。それらの言語の文法を記述するためには、たいていの場合その言語が話されている現地に行って、その言語の母語話者に協力してもらいながら調査をします。このような言語学はフィールド言語学と呼ばれています。まったく知らない言語は最初は音の羅列でしかありません。聞いた音をどこで区切れればよいのか、どのような記号で表記すればいいのかを悩み考えるところから始まります。しかし、それがやがて「言語」として聞き取れるようになり、音や文法の規則が見えてきます。本講座では、アフリカ諸語の例をとおしてフィールド言語学について紹介します。アフリカ諸語の魅力とフィールドワークのおもしろさもお伝えしたいと思います。

『ことばの宇宙への旅立ち—10代からの言語学』大津由紀雄編 好評発売中

第一線で活躍する言語学者自身の研究の紹介や言語学を志すきっかけなどのエピソードが盛り込まれています。発行：東京言語研究所／発売：ひつじ書房



書店にない場合は直接研究所にご注文ください。